

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 福島県 代表

チーム名 常磐軟式野球少年団

氏名 橋本蓮 ポジション 捕手

決勝戦で勝つ瞬間、優勝したという気持	ちにはなれませんでした。マウンドにかけ寄る時も、まだ実感はありませんでした。	そこで閉会式なり、成績発表の時	優勝チーム常磐軟式野球少年団	日本一おめでとう	一番感動したのは、賜杯を受け取った時、	とされました。	「日本一おめでとう」	とスタンダードから聞こえたりました。	涙が流れそうになりました。今まで辛か	た事が、今までが今までもありました。今まで辛か	り結果になつたと思いまじた。ぼくは、主将	に良かつたのです。全国優勝した事に心	本当に良かつたのです。全国優勝した事に心	四番バッターとしてこの役割を果たせた事が、	とし二千一人をまとめて捕手として守備の要	い	うに、これからも努力していきます。
--------------------	--	-----------------	----------------	----------	---------------------	---------	------------	--------------------	--------------------	-------------------------	----------------------	--------------------	----------------------	-----------------------	----------------------	---	-------------------

20×20

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 **福島県**  
 チーム名 **常磐石軟式野球少年団**  
 氏名 **北川太一**  
 代表 **ポジショントレーナー左翼手**

ほくが野球を始めたのは、小学校一年生からでした。二の全国大会優勝の時のレギュラーゲーティングは、天と地の差があります。それは、一年生の二年、はるかしながら練習に行っていましたが、野球よりもグランドの周りに虫に夢中でした。しかし、三年生の二年からチームが勝つところを喜びました。そして、五年生の時先輩の全国大会と一緒に行き、そこでバットひきをさせてもらつた時から、全国大会優勝の目標がはつきりしてきました。それから練習をまじめにしました。素振りもがんばりました。

全国大会の入場行進の時は、今思い出して、もうドキドキします。あまりにも周りの選手が一戦一戦勝って、優勝したしゅん間は、腰が不安でいつもになりました。その不安の中、ただけそうでした。とても、嬉しかったです。夢は叶うと分かりました。みんなに感謝です。

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 福島県 代表 氏名 安文優斗 ポジショントスボーカー 投手・一塁手

	8月14日から8月19日の6日間、ぼくは最
です。	高の夏休みの思い出を作りました。一回戦は東京のチーム。4回まで〇対〇で代打ぼく。
	すゞく主人張しました。カウント、ツイ
	ボールをねらい一塁線上にヒット。セカンド
	にいた蓮さんのがホールを小み一点先制。す
	くうれしかったです。ベンチにもどり、ラッ
	取の千一郎とほめられました。3回戦では鳥
	5回まで〇点におさえました。先発でマウンドに立ち
	きました。準決勝、決勝ではファーストで
	んばりました。結果、ヒットも打ち優勝とろうとか
	ことできました。6年生先輩はいたちと優勝とろうとか
	ボーアイだつたと思ひます。毎日、常磐の練習
	か終わつてから、お父さんに、ピッヂング、
	ましめた。来年も全国出場できるのみんなにほめられたい
指し がんばり日本一のピッヂワード	かんばつたからんにバッテイングを教えてもらひ、

20×20

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県

チーム名 常磐船石軟式少年団

表

氏名 小山 泰生 ポジション 内野手

日本一になれて、とてもうれしかったです。

戦う姿をすごく近くで見れて、いろいろ勉強になりました。幸せだと思いました。先輩たちには、技術力も気力も体力も日本一だと思いました。日本には、たくさんの中の選手がいて、みんな日本一をめざして、がんばっているんだなと思いました。だから、ぼくもみんなに負けないように、毎日、毎日、練習して、もつと möchtenました。でも、うまくなりたいです。そして、心も身体も強くなくて、自信をもつて、夢の舞台でまた「全国制覇」します。

20×20

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

ぼくは、この大会で、きん張もしたけど、自信もありました。毎日走り回り練習をしました。

試合が初まる前、心の中で父や母みんなに感謝の気持ちを考えていました。ぼくたちは六試合したけど、全て手一丸と負けた気が毎回ありました。

なまじかでたかいましてた。ぼくが試合に出た時は、かっこよくながれで、も「ナニヤう」と思ってアレ一をしました。

の役に立ちたいと思つて、なんとかながつこで、も「ナニヤう」と思つてアレ一をしました。

ぼくがホームインした時に、なんとかながつこで、も「ナニヤう」と思つてアレ一をしました。

時に行選手全員がハイタッチになりました。もどつた。

ぼくたちが優勝したし、んかん

と喜んで言つてマウンドに走りました。

常磐が初めて学童で優勝しました。

うれしくてたまりませんででした。賜杯や優勝旗、金メダルを福島に持ち帰れてうれしい。

都道府県 福島県

代表

チーム名 常磐軟式野球少年団

ポジション 右翼外野

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 福島

チーム名 常磐石軟式スボーツ少年団 代表

氏名 山野凌己 ポジショントレーナー  
外野手

ぼくは、県大会を優勝した時から、「全国大会優勝する」と信じていました。そのため全国大会の前は練習が多くてつらい時も色々ありました。だけでも、その苦労が、全国大会優勝をみずびりしてくればと、思います。あと一つぼくに、気づかせてくれた二点がありました。それは平山山口の千一夜と、瑞穂アリーナの協力と努力が伝わったのです。全国大会優勝ができたのも、この二つの日も風の日もろ練習じま全国大会優勝ができたのが思い出します。一週間、家族とはなればなれでくらしたのは初めて初めてでした。家に力をつけてあるメグルの中の一番重いメグルを真っ先に、家族にじまんじよかと思つたけれど、妹の顔をみた弓がいるところ、野球ができる事があります。それで、家族は「なみだがたくさんできました。それは、家族の弓で、一緒に大きくなる事があまり前だと思つていわけど、はなれて感じたのは、家族や仲間たちのおかげで、全国大会優勝を体験できて、とてもしめあわせに感じた大会でした。みんなありがとうございました。おんなありがとうございます。

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 福島県 氏名 笠木 海斗 表

常磐の夢、それは「全日本学童軟式野球大  
会マクドナルド・トーナメント」での全国制  
覇。この二十七年間全国大会で優勝した事が  
なか、た。常磐が初の全国優勝。優勝が決まつ  
た時、うれしくて何と言えなかつた。  
今まで振り返ると、去年の夏休みの朝練  
から始まり、毎日①練習、そして一番苦しか  
った冬練を全員で乗り越えどんどん千一ムー  
丸となつてりきました。県大会で優勝し、全  
国大会の切符を手にしました。全国大会では  
今までの練習を思い出し、集中して自信を持  
つてアレル、全員野球で優勝しよう、悔し  
涙じやなく、うれし涙を流そう。そり仲間と  
約束し試合にのぞみました。そして、ベンチ  
スタンド全員で勝ち取った優勝「夢」が現実  
になりました。それは、仲間はもうろんかん  
とく、コト千、家族、応えんしてくれた方々  
全てのおかげでここまでこれました。

計さん本当にありがとうございました。

常磐に入つて本当に良かったです。

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 氏名 常盤石軟式野球スクール少年団 代表

チ一ム名相模京太朗 ポジション一塁手

走	彰	結果的	決勝戦	出来	が	し	勝	的	勝	き	り	た	後	の	ほ
る	式	決	勝	未	し	て	も	に	で	ま	す	け	の	く	く
二	式	果	勝	来	ま	い	な	逆	と	た	る	ど	全	は	六
ヒ	の	的	戦	未	し	い	か	点	と	か	し	今	国	、	年
か	時	は	は	し	た	い	リ	点	か	フ	た	ま	大	、	生
出	堂	瞬	勝	未	し	た	申	か	た	フ	し	持	会	、	い
来	々	間	勝	し	た	・	せ	か	と	か	た	さ	初	、	最
ま	ア	に	勝	し	た	・	も	か	か	フ	、	れ	め	、	上
し	マ	か	勝	し	た	・	川	か	か	カ	、	し	だ	、	級
た	ウ	常	勝	し	た	・	き	か	か	カ	、	た	の	、	生
。	ニ	盤	勝	し	た	・	モ	か	か	カ	、	持	う	、	な
	ド	通	勝	し	た	・	川	か	か	カ	、	か	し	、	自
	に	通	勝	し	た	・	き	か	か	か	、	か	二	、	信
	走	通	勝	し	た	・	モ	か	か	か	、	か	手	、	い
	？	通	勝	し	た	・	川	か	か	か	、	か	手	、	れ
	？	通	勝	し	た	・	き	か	か	か	、	か	手	、	か
	？	通	勝	し	た	・	モ	か	か	か	、	か	手	、	最

20×20

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県福島県  
チーム名常磐軟式野球スポーツ少年団  
代表 氏名佐藤龍

ポジショングラフィック遊撃手

ぼくは、一回戦から四回戦まで出ました。  
最初はとてもさすらうしました。けれども  
人の応え人で少し勇気をもつきました。  
だから出てない人の分までがんばろうと思いま  
した。

一回戦で安斎くんのヒットで同点になりました。  
次にランナー一・二・三になつてぼくの打順  
になりました。その時はバントかうまくいきランナ  
けないと思つて少しプロレーシャーがかかりま  
した。そこで返す事ができつたのです。  
二回戦からは、あまりきくちよになつて  
してしまった。だけどライアーフライをエラー  
させました。あまりきくちよになつて  
準決・決勝は、ベンチから応え人しました。  
ンチが声がかかる人だとこゝでいました。  
優勝が決まつた時は、うれしくてなみたが  
出来年も絶対に優勝をするぞ!!  
出そろでした。

都道府県 福島県 表

チーム名

ムヒル田麻人 常磐船橋軟式野球スポーツ少年団  
ポジション 右翼手

かほくはー全国大会かまつこすごくうれい

かたひす。ほくたちが勝てたのは、監とく

ユーナ陣たちのあがけが勝てたのは、監とく

はー二れまでで野球やあたいたと思ひました。ほく

いフはいありました。だりどそれのりこえ

乙やつとこまできました。そしことうとう

全国当日不きまし。ほくはー試合日二試

合日と、當日前に熱がでたせび試合に出る

ました。最初は、きん張していたりえびと

ました。最後は、けれど三試合目にやつと出来

ました。最初は、きん張して四、五、と

ひで良かっただなと思います。

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 福島県 代表

氏名 草野隼人 ポジション 三塁手

高円宮賜杯第三十回記念全日本学童軟式野球スボルツ少年団

球大会マクドナルド・トーナメントは僕の夢  
の舞台があり、この大会で優勝することが最大  
の大目標でした。県大会優勝から二ヶ月半  
必死に練習してきた成果を発揮する全国大会  
の日がやつてきました。  
初めは、とても緊張していましたが、試合  
が出来ようになりました。その中で、僕が  
を重ねるたびに緊張がほぐれ、自分のプレー  
一一番印象に残った打席は、準決勝の白老町緑丘  
ファイターズ戦の六回裏に放った二点タイム  
リーライトオーバーインタイトルツーベース  
ダメ押し点になったので、気持ち的にも楽に  
ヒットです。追加点がほしい場面での一打が  
なり、忘れることの出来ない一打になりました。  
そして全国大会優勝を成し遂げた瞬間僕は今  
までで一番いい笑顔を見せることが出来ました。  
チーム初の全国制覇を成し遂げられた事は、  
仲間を信じ、チーム一丸となり福島県初、  
僕の一生の宝物です。

都道府県 福島県 代表

チーム名 常磐石軟式野球スポーツ少年団

ポジション投手

氏名 石井虎人

日本一をかけた決勝戦

僕が、一番緊張した試合は決勝戦です。

決勝戦は、福岡県代表千一ムの宮、陣ヶ原アーヴィングボールをあたえてしまい、トスでした。僕は、ピッチャーディボールをあたえました。

先頭打者にデッドボールをあたえました。

二番に送りバントされ、三番にアウトコース

を投げたが、ライトオーバーを打たれ、1

点とられてしましました。でもまだ1点差が

あります。攻撃では、みんなで投げ、4番

点をとつてくれてました。安心して投げること

だけど、みんなを信じて安心して投げること

が、ミセの gio カンガムを信じて安心して投げること

が、みんなを信じて安心して投げること

ました。その結果、10対3で勝ち優勝。

全国制覇、日本一になりました。

僕は、うれしくうれしく泣いてしまった。  
しかし、とてもうれしかったです。本当にうれ

しきつたです。日本一は最高だー。

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

ぼくが、全国大会で、感動した事は3つあります。

一つ目は、1回戦、5回に逆転した後からが、すばらしく、フレッシュしていいからです。

二つ目は、打球が来て、飛び付いて見たらボールをとっていました。このフレインプレーは、かっこいいました。このフレインプレーは、みんながどうせてくれたと思いました。

二つ目は、準々決勝の三重代表戦、先制点をとったあと、なかなか点が入らなくて、2アウト3死、に3トで同点の場面です。

一・二塁間のスペースで、立上りで一塁に送球、と、すばやく立ち上がりかけて、飛び立てた。ぼくは必死に走りかけ、飛び立てて、ゴロが来ました。

判定はアウトです。このむずかしいゴロがとれただのも、28番、佐藤雅彦ユーチューバーです。

うつ目は、やっぱり優勝した事が一番うれしかったです。チームイトみんなが目標にしてくれた、全国制覇が叶えられしかったです。

都道府県  
チーム名  
氏名 早坂 宗  
三田島県  
常磐石軟式野球少年団  
代表  
ポジション 二塁手

都道府県  
チーム名

代表

氏名 早坂宗

ポジション

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

似上、この3つの事が感動しました。  
えんしてくれた、すべての方々、本当にア  
ガくうございました。

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県福島県常磐石軟式野球少年団表  
チーム名柳祐輔 氏名柳祐輔

ポジション遊戸手手

ぼくは、全国大会に出場して思ったことは、  
ふうの大会や試合よりも緊張したと言つた  
とです。でもぼくたちは、緊張感を持つよう  
りも、「自分たちの野球をする」ということ  
だけを肝に銘じていた。  
ぼくたちが一番苦しかった試合は、初戦と  
準々決勝です。初戦は、全国大会の一回戦で  
アレシツヤ一もすづくかがつた試合は、初戦と  
苦しい試合だった。試合が終わって、ユーチ  
陣に言われたことは、「一回戦なんが勝つ  
あたり前だ」と言われて、気持ちが引きしま  
った。  
準々決勝は、一点点差で勝つた。ギリギリの  
戦いだつたけど、なんとか全國大会  
！と思つた。  
決勝では、一人一人の気持ちが熱く燃えて  
いた。しかも、打線爆発でやぱり決勝戦は  
も、それが一人一人の選手は出来ていた。  
冷静に勢い気持ちでやらないと勝てない  
から優勝した。優勝した時は、とてもうれし  
かった。

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県福島県  
チーム名常磐石軟式野球  
氏名

少年団表  
ポジション  
游撲手  
車手

がつた。ベンチに戻つた時にみんなで泣きあつた。全国大会は、激しい試合だつたけど、  
全力プレーで「全国野球」をみんな実行し  
いきりپレーガ出来て良かつたです。

20×20

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 福島県 代表  
チーム名 常磐軟式野球スクール少年団  
氏名 市川雅也  
ポジションセンター

全国大会

ぼくたちのチームは、全国大会に出場しました。

ぼくたちのチームは、全国審査もました。

ぼくたちのチームは、全国審査を通過してきました。

それが夢でした。その希望がかないました。

ぼくは、かいとさんと一緒になりました。

なせなら、足もはやいし、バントも、うま

いかげです。

そこは、うとうさせんぱいになりました。

たてたからがてました。

ぼくたちのチームは、ねばりや、一かんに

です。

「ぐじも、全国せいはき目指してやうし

うをしたいと思します。レウを目指します。

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

ぼくたち常磐石軟式野球スボーツ少年団は、  
 全国制覇を目指に、全国大会に出場をしました。  
 た。そこでぼくたちは、全国の強じうチーム  
 を木手に一単丸一戦勝ち抜き、ついに後ひとつ  
 の決勝戦まできました。決勝戦の相手は、福  
 岡県代表の宮ノ陣フリワーズと試合をしまし  
 た。初回に2点を取り、その勢いご合計10点を  
 取り、結果10対3で勝利し全国優勝をするこ  
 とに入り日本一になることを楽しみました。  
 したので、ようちえんの年長から常磐スボ少  
 とができました。ぼくは、お兄ちゃんがいいま  
 したのとを楽みにがんばりました。  
 乙きました。優勝の瞬間とてせうれしく涙  
 がとまりませんでした。日本一は、最高です。  
 来年も全員野球で二連覇を目指し、毎日の練  
 習と自主練をがんばります。

都道府県 滋賀県  
 チーム名 第30回記念全日本学童軟式野球スボーツ少年団  
 氏名 濱 尾崎  
 部門 軟式野球  
 年齢 11歳  
 代表者名 田中代表  
 ポジション 手擲手

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県  
チーム名

福島県  
沼倉学園  
代表  
ポジション  
少年左翼投手

神宮球場での入場行進が、とてもうれしかったです。去年も、常磐は全国大会に出場しましたが、ぼくは出られなかつたら、うれしくありません。二回戦の南大谷ドリームスとの試合は接戦で、ましに絶対勝てると言じていました。他の試合も、全部接戦で、一ヶ月差の勝負力多めでした。でも絶対勝てると言じていました。しかし、苦しくても勝てて、良かったです。優勝できただことが、すごくうれしかったです。優勝できただらをかけてもうらいました。表式でメダルをかけたことがあります。全国大会の金メダルは、すごいなーと思いまして。表式が終ると、2人なりで一緒に、よろこびました。優勝できて、うれしかったです。

20×20

高円宮賜杯第30回記念全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 横浜県  
 チーム名 常磐軟式野球少年団  
 氏名 井上 太悟 代表  
 ポジション キャッチャー

全国大会 やう勝

井上 太悟

ぼくは、入場行進のときすこしちんちょうしました。神宮球場はプロ野球せんしゅが試合をする場所。ぼくも行けたらんでやめました。たいでしょ。ぼくはベンチから六年生の先輩のプレーを見ていて、すごくはくりょかあって、ナイスプレーはかりでした。ぼくはベンチから大きなこえで、大えんしました。決勝せんでは、ぜつたに勝つと思つて、声をいふはい出しておうえんしました。やう勝してすぐれしかつたし、六年生の先輩たちは、本当にすごくて、強くて、かつこよがつたです。ぼくは、まだよびきやフナマリだけど、来年の全国大会でレギュラーで出場できらよう。今まで以上に練習をして、だれにも負けない、チームになつて、やう勝三連ばできるようになります。

都道府県

福島県

代表

チーム名 常磐サッカーポジション

ぼくは、1回戦から決勝戦まで勝ち続けた。  
初日には、他の強豪に敗れてしまい、敗北した。  
でも、その後も、勝ち進んで、決勝戦で負けた。  
勝負責任を持つて審判で決まりました。やはり主  
導権を握った方がいいと思います。  
試合中でも、逆転されたり、逆転された。  
でも、それでも、やるべきことをやれば、勝利して  
しまう。  
勝が敗に、敗が勝になる瞬間は、それだけで、興奮  
してしまう。  
うは、おどろいて、それしか「たです。」の経験  
も、多くて、勝負の瞬間に、喜びがこみこみで、喜ぶ。  
試合中も、また、走り、走り、走り、走り、走り。  
試合中も、また、走り、走り、走り、走り、走り。  
では、さあ、試合が本番になりました。そこそこ、  
大事な今後の連盟戦、勝ち上がりをかけて  
います。日本が日本一であることを、

20x20